

大垣市奥の細道むすびの地記念館  
学芸事業報告書

令和7年度

大垣市教育委員会

# 目 次

1	展示活動	1
(1)	常設展示	1
(2)	企画展示	2
①	第41回企画展 芭蕉の真筆でたどる『奥の細道』⑦ ～歌枕を訪ねて～	2
②	第42回企画展 金森吉次郎 ～水を治むるの本は、山を治むるに在り～	4
③	第43回企画展 『奥の細道』「大垣」の章段を探る	6
2	教育・普及活動	8
(1)	一般向けの活動	8
①	企画展関連講座	8
②	おおがき芭蕉大学	8
③	おおがき先賢大学	8
④	総合監修者講演会	8
⑤	ギャラリートーク	9
(2)	子ども向け活動・学校との連携活動	10
①	こどもミュージアム	10
②	ふるさと魅力体験事業	11
③	その他	12
(3)	博物館実習	13
(4)	講師派遣	14
3	資料の収集活動	15
(1)	寄附資料	16
(2)	購入資料	18
(3)	預託資料	19
(4)	資料補修	19

## 1 展示活動

### (1) 常設展示

江戸時代の大垣は、城下町・宿場町・港町という3つの要素をそなえており、東西交通の要所、また、東西文化の結節点として、経済・文化が大きく発展した地であった。経済力・文化力の高さは、俳人松尾芭蕉が『奥の細道』の旅を大垣で終えたことや、江戸時代以降に大垣からさまざまな分野の先賢が輩出したこととも深いつながりがある。

常設展示では、大垣の経済や文化と関わりが深い松尾芭蕉の『奥の細道』と、大垣ゆかりの偉人である先賢について紹介している。

#### ① 芭蕉館

芭蕉館では、松尾芭蕉の『奥の細道』について、ゆかりの資料や映像を交えながら紹介している。「月日は百代の過客にして」で始まる発端の場面から、旅のむすびの地大垣までの場면을、日光路・奥州路・出羽路・北陸路の4つの旅路に分けて紹介し、『奥の細道』全体を深く味わえる展示になっている。

館内の各所には、『奥の細道』の代表的な場면을再現したジオラマを設置しているほか、『奥の細道』の和装本や旅衣装など手で触れるレプリカも展示している。

また、芭蕉の人柄についてもパネルで紹介し、“俳人芭蕉”だけでなく、“人間芭蕉”の魅力にも触れることができる。

#### ② 先賢館

先賢館では、江戸時代後期から幕末・維新时期にかけて活躍した大垣ゆかりの先賢5人を紹介している。蘭方医の江馬蘭斎、植物学者の飯沼慾斎、女流漢詩人の江馬細香、漢詩人の梁川星巖、大垣藩重臣で文人の小原鉄心について、ゆかりの資料と映像を通じて、その生涯と偉業を紹介する。

また、先賢各人の交遊関係についても紹介している。大垣の先賢が日本史上の著名な人物たちと幅広いつながりがあったことを示す。

## (2) 企画展示

松尾芭蕉・『奥の細道』と大垣の先賢を紹介する企画展を、春・夏・秋の年3回開催している。春・秋は松尾芭蕉や『奥の細道』関連の企画展、夏は大垣の先賢関連の企画展を開催している。

### ① 第41回企画展 芭蕉の真筆でたどる『奥の細道』⑦ ～歌枕を訪ねて～

#### 1) 内 容

元禄2年(1689)3月27日、芭蕉は江戸の深川(現・東京都江東区)を出立し、『奥の細道』の旅に出る。この旅は、東北・北陸地方を巡り、同じ年の8月20日頃に大垣に至るもので、距離にしておよそ2400キロ、日数にして150日ほどにも及んだ。

芭蕉が『奥の細道』の旅で訪れた地の中には、「歌枕」と呼ばれる、古来、和歌に詠まれて有名になった名所・旧跡も少なくない。松島(現・宮城県松島町)や象潟(現・秋田県にかほ市)などの歌枕を巡り、能因・西行ら先人たちと心を重ね合わせることは、芭蕉にとってこの旅の大きな目的の一つであった。

第41回企画展では、歌枕を巡って先人たちの感動を追体験し、新たな創作を重ね続けた芭蕉の姿勢について、ゆかりの作品や資料を通して紹介した。

2) 会 期 令和7年3月29日(土)～令和7年5月11日(日)

3) 会 場 1階企画展示室

4) 主 催 大垣市・大垣市教育委員会

5) 入館者数 3,530人

6) 出品点数 19点(パネル展示は除く)

#### 7) 主な展示資料

- ・素槩筆 芭蕉・曾良旅装図(当館蔵)
- ・芭蕉筆「かさしまや」句文懐紙(伊賀市蔵)
- ・芭蕉筆「きさがたの」等三句懐紙(亀田城佐藤八十八美術館蔵)
- ・芭蕉筆「腰長や」句短冊(にかほ市象潟郷土資料館蔵)
- ・波静筆 曾良真蹟来歴記(敦賀市立博物館蔵)
- ・芭蕉筆「わせのかや」等二句懐紙(加賀市美術館蔵)
- ・芭蕉筆「なみだしくや」句短冊(個人蔵・敦賀市立博物館寄託)
- ・元禄4年9月9日付去来宛芭蕉書簡(個人蔵) ほか

8) 関 連 事 業 企画展関連講座(8頁に掲載)

ギャラリートーク(9頁に掲載)

9) 印 刷 物 ポスター・チラシ・図録(カラー32頁)

奥の細道むすびの地記念館 第41回企画展

芭蕉の真筆でたどる「奥の細道」⑦

歌枕を訪ねて

令和7年 3月29日(土) - 5月11日(日)

開館時間: 9:00~17:00

大垣市奥の細道むすびの地記念館 1階 企画展示室

企画展関連講座 54日祝 14:00~15:30

会場: 記念館 2階 多目的室1

テーマ: 歌枕の近世の変容と俳諧

講師: 真島望氏 (熊本県立大学准教授)

受講料無料 定員70名(先着順)

要事前申込み (申込期間: 3月30日(月)9:00~5月10日(金)17:15)

ギャラリートーク (学芸員による企画展示解説)

330日 413日

427日 511日

いずれも14:00~各30分程度

事前申込み不要 参加費無料 (但し入場料必要)

施設案内

観覧料/先着順	観光・交流料
一般300円 児童150円 (18歳未満は無料)	無料

施設内 観覧料/先着順 観光・交流料

料 金

観覧時間 午前9時~午後5時 午前9時~午後5時

休 日 日 祝日 観覧料: 0円(0歳~17歳未満)

記念館HP

大垣市奥の細道むすびの地記念館

〒503-0923 岐阜県大垣市船町2丁目26番地1 TEL 0584-84-8430

主催/大垣市・大垣市教育委員会

問い合わせ先: 文化振興課 〒503-8601 岐阜県大垣市丸の内2丁目29番地  
TEL 0584-47-8067(直通) FAX 0584-47-8068 <https://www.city.gakai.jp/>  
奥の細道むすびの地記念館ホームページアドレス <http://www.basho-ogaki.jp/>

※奥の細道むすびの地記念館ホームページで最新の開催状況をご確認の上、お出かけください。

## チラシ (表)

元禄二年(一六八五)三月二十七日  
芭蕉は江戸の深川(現・東京都江東区)を出生し、奥の細道の旅に出ます。

この旅は、東北・北陸地方を巡り、同じ年の八月二十日頃に大垣に至るもので、距離としておよそ二四〇〇キロ。

芭蕉が、奥の細道の旅で訪れた地の中には、「歌枕」と呼ばれる、古来和歌に詠まれて有名になった名所・旧跡も少なくありません。

松島・現・宮城県松島町や、象潟・現・秋田県にかほ市などの歌枕を巡り、能因・西行ら先人たもと心を重ね合わせることは、芭蕉にとってこの旅の大きな目的の一つであったのです。

第四十一回企画展では、歌枕を巡って先人たちの感動を追体験し、新たな創作を続けた芭蕉の姿勢について、ゆかりの作品や資料を通して紹介します。

企画展関連講座

54日祝 14:00~15:30

会場: 記念館 2階 多目的室1

テーマ: 歌枕の近世の変容と俳諧

講師: 真島望氏 (熊本県立大学准教授)

受講料無料 定員70名(先着順)

要事前申込み (申込期間: 3月30日(月)9:00~5月10日(金)17:15)

展示品

- 芭蕉筆「かきしまのや」写文巻紙(伊賀市蔵)
- 芭蕉筆「きさぎのたの」写三つ巻紙(豊田城址跡(八十八歳有賀蔵))
- 芭蕉筆「経長や」写短冊(しかばね書道堂土蔵所蔵)
- 芭蕉筆「おせのや」写二つ巻紙(加賀市書道館蔵)
- 芭蕉筆「なみだし」写短冊(個人蔵、岐阜市立博物館蔵)
- 元禄4年9月9日付去來宛芭蕉書簡(個人蔵)
- 江村手 芭蕉 芭蕉書簡(岐阜市立博物館蔵)
- 芭蕉筆 芭蕉 芭蕉書簡(個人蔵)

※ 展示期間: 令和7年3月29日(土)~令和7年5月11日(日)  
※ 展示時間: 令和7年3月29日(土)~令和7年5月11日(日)

講座参加申込用紙

よりがな

名前

住所

電話・FAX番号

電話 FAX

【注意事項】

- \*申込書の個人情報は、連絡に管理し、本事業以外の目的には一切使用しません。
- \*申込み受付の電話については通話料がかかります。当日、会場にお越しください。
- \*お帰りのため、交通の都合、キャンセル料までご了承ください。
- \*書き置きの際は個人差がありますので、併送順序できずお断りください。

申込み方法 問い合わせ先

※講座は、申込用紙に必要事項を記入して、文化振興課へ郵送・持参・FAX、または奥の細道むすびの地記念館ホームページ(<http://www.basho-ogaki.jp/>)および上記のQRコードよりお申し込みください。

〒503-8601 岐阜県大垣市丸の内2-29 大垣市教育委員会 文化振興課  
TEL 0584-47-8067(直通) FAX 0584-47-8636

※詳細は奥の細道むすびの地記念館ホームページでご確認ください。

## チラシ (裏)

## ② 第42回企画展 金森吉次郎

### ～水を治むるの本は、山を治むるに在り～

#### 1) 内 容

「水を治むるの本は、山を治むるに在り」の思想のもと、日本でも有数の洪水地帯である濃尾平野において川や山と向き合い、治水・植林対策に力を尽くしたのが金森吉次郎（1864～1930）である。

明治24年（1891）10月に発生した濃尾地震では、被害の大きさを皇室や政府に報告して救済を求めた。また、同29年7月と9月に発生した水害では、輪中内部に溜まった悪水を揖斐川に排水するため、横曽根の堤防を切り割った。同30年7月には、志を共にする金原明善や山田省三郎らとともに、揖斐川水源地の北山谷や根尾谷に赴き、山腹崩壊の実情を視察し、その後の岐阜県の植林事業のきっかけをつくった。

第42回企画展では、「治山治水」に生涯をささげた金森吉次郎と彼を取り巻く人物たちとの活動について、ゆかりの資料を通して紹介した。

2) 会 期 令和7年7月19日（土）～令和7年8月31日（日）

3) 会 場 1階企画展示室

4) 主 催 大垣市・大垣市教育委員会

5) 入館者数 2,445人

6) 出品点数 27点（パネル展示は除く）

#### 7) 主な展示資料

- ・明治24年12月22日付金森吉次郎宛福沢諭吉書状（個人蔵）
- ・明治29年4月付湯本義憲宛岐阜県治水共同会感謝状（個人蔵）
- ・『藤渠漫筆』（岐阜県歴史資料館寄託）
- ・明治30年8月7日付湯本義憲宛金森吉次郎書状（埼玉県立文書館寄託）
- ・岐阜震災救済ニ関スル金森吉次郎等上申書（國學院大學図書館蔵）
- ・金森翁の植林地を基に森林組合を創立して支持経営の趣旨書（大垣市立図書館蔵） ほか

8) 関 連 事 業 企画展関連講座（8頁に掲載）

ギャラリートーク（9頁に掲載）

9) 印 刷 物 ポスター・チラシ・図録（カラー32頁）

第42回企画展  
奥の細道むすびの地記念館

かき 森  
まち 吉次郎  
ろう

水 を治むるの本は、山 を治むるに在り

令和7年  
7月19日(土) - 8月31日(日)

開館時間: 9:00~17:00  
大垣市奥の細道むすびの地記念館  
1階 企画展示室

企画展関連講座  
8月17日 14:00~15:30 全年度記念館2階 多目的室1  
テーマ: 災害に立ち向かった明治人 ~金森吉次郎と金原明善による思想の共通~  
講師: 伴野文亮氏 (鹿児島大学法文学部附属鹿児島近現代教育研究センター特任准教授)

ギャラリートーク  
(事前申し込み不要) 企画展無料  
7月19日 8月10日 8月24日 8月31日  
いずれも14:00~ 各30分程度 全年度記念館1階 企画展示室

施設案内  
館内施設 常設展 / 先着順 観光・交流館  
料金 一般300円 学生150円 (18歳未満は半額)  
開館時間 午前9時~午後2時 午前9時~午後6時  
休 業 日 毎週月曜日 (祝祭日を除く)

記念館HP  
大垣市奥の細道むすびの地記念館  
〒503-0923 岐阜県大垣市船町2丁目26番地1 TEL 0584-84-8430  
主催 / 大垣市・大垣市教育委員会  
問い合わせ先: 文化振興課 〒503-8601 岐阜県大垣市丸の内2丁目29番地  
TEL 0584-47-8067(直通) FAX 0584-47-8636 <http://www.city.gakai.jp/>  
奥の細道むすびの地記念館ホームページ: <http://www.basho-ogaki.jp/>  
奥の細道むすびの地記念館ホームページで、最新の開催状況をご確認ください。

チラシ (表)

「水を治むるの本は、山を治むるに在り」の思想のもと日本でも有数の治水地帯である濃尾平野において川や山と向き合い、治水・植林対策に力を尽くしたのが金森吉次郎(1864~1930)です。

明治24年10月に発生した濃尾地震では被害の大きさを皇室や政府に報告して救済を求め、同29年7月と9月に発生した水害では稲中内部に溜まった悪水を掘穿川に排水するため掘貫根の堤防を切り崩しました。また、同30年7月には志を共にする金原明善や山田玄仙らとともに掘貫川水源地の植林事業に赴き山藪疎林の業績を構築し、その後の岐阜県の植林事業のきっかけをつくりました。

「家」の企画展では、「治山治水」に生涯をささげた金森吉次郎と彼を取り巻く人物たちとの活動についてゆかりの資料を通して紹介します。

主な展示品  
・明治24年12月22日付金森吉次郎宛陸奥府知事書状(個人蔵)  
・明治29年4月付濃尾水害復興委員会共同会報附録(個人蔵)  
・『藤室漫筆』(2巻)金原明善著、岐阜県立資料館蔵  
・明治30年8月7日付濃尾水害復興会金森吉次郎書状(岐阜県立資料館蔵)  
・岐阜県史跡調査所「金森吉次郎等上り書(植林文庫、濃尾川大学図書館蔵)  
・金森吉次郎の植林事業に森林組合を創設して支援経路の開拓書 (大垣市立資料館蔵)

8月17日 14:00~15:30  
企画展 会場: 記念館2階 多目的室1  
関連講座 テーマ: 災害に立ち向かった明治人 ~金森吉次郎と金原明善による思想の共通~  
講師: 伴野文亮氏 (鹿児島大学法文学部附属「鹿児島近現代」教育研究センター特任准教授)

受講料無料  
定員70名(先着順)  
要事前申込み  
7月18日(土) 9:30  
8月15日(土) 17:15  
事前申し込みはこちら

講座参加申込用紙

名前 \_\_\_\_\_

住所 \_\_\_\_\_

電話・FAX番号 \_\_\_\_\_ 電話 \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_

【注意事項】  
・申込者の個人情報は、適切に管理し、本事業以外の目的には一切使用しません。  
・申込内容の訂正については連絡し、必ず、希望日時までに訂正してください。  
・会場整理のため、入室の順番、できるだけ前日までにご連絡ください。  
・申込書の郵送は個人情報が漏れるなどの、保護対策がとれていないためお断りいたします。

申込み方法  
お問い合わせ先  
\*講座は、申込用紙に必要事項を記入して、文化振興課へ郵送・持参・FAX、または奥の細道むすびの地記念館ホームページ(<http://www.basho-ogaki.jp/>)および上記のQRコードよりお申し込みください。  
〒503-8601 岐阜県大垣市丸の内2-29 大垣市教育委員会 文化振興課  
TEL 0584-47-8067(直通) FAX 0584-47-8636

※詳細は奥の細道むすびの地記念館ホームページをご覧ください。

チラシ (裏)

### ③ 第43回企画展 『奥の細道』「大垣」の章段を探る

#### 1) 内 容

芭蕉は、元禄2年（1689）3月27日に江戸の深川（現・東京都江東区）を出立すると、東北・北陸地方を巡り、同じ年の8月20日頃に大垣を訪れた。大垣に2週間ほど滞在した芭蕉は、多くの人々と親しく交わり、9月6日、伊勢（現・三重県）に向けて旅立った。

この旅の体験をもとに著された芭蕉の俳諧紀行『奥の細道』には、現在、「奥の細道むすびの地」と称されている大垣が、紀行を締めくくる章段として登場する。そして、著者である芭蕉自身の体験と同じように、文学作品としての紀行の本文には、大垣を訪れた主人公「予」と人々との交歓の様子が描かれている。

第43回企画展では、『奥の細道』の「大垣」の章段について、著者である芭蕉や彼を取り巻く人々にゆかりの作品・資料を通して紹介した。

2) 会 期 令和7年10月4日（土）～令和7年11月16日（日）

3) 会 場 1階企画展示室

4) 主 催 大垣市・大垣市教育委員会

5) 入館者数 3,016人

6) 出品点数 16点（パネル展示は除く）

#### 7) 主な展示資料

- ・春帆画・麦庵賛 『奥の細道』「大垣」（個人蔵）
- ・秋月堂画・越人賛「三つの顔」句画賛（当館蔵）
- ・如行筆「松梅や」句文色紙（当館蔵）
- ・芭蕉筆「かげろふの」歌仙（個人蔵）
- ・木因筆「青柳や」等二句懐紙貼付木因坐像（個人蔵）
- ・木因筆「青梅や」句懐紙（当館蔵）
- ・芭蕉筆「蛤の」句懐紙（当館蔵） ほか

8) 関 連 事 業 企画展関連講座（8頁に掲載）

ギャラリートーク（9頁に掲載）

9) 印 刷 物 ポスター・チラシ・図録（カラー32頁）

奥の細道むすびの地記念館 第43回企画展

「大垣」の章段を探る

『奥の細道』

令和7年  
10月4日(土) - 11月16日(日)

開館時間: 9:00~17:00  
大垣市奥の細道むすびの地記念館 1階 企画展示室

企画展関連講座  
10/26日 14:00~15:30  
会場: 記念館 2階 多目的室1  
講師: 小林 孔氏 (大阪城南女子短期大学教授)

ギャラリートーク (学芸員による企画展示解説)  
10/5日 10/12日 11/2日 11/16日  
いずれも14:00~/各30分程度 会場: 記念館 1階 企画展示室

主催: 大垣市・大垣市教育委員会  
問い合わせ先: 文化振興課 〒503-8601 岐阜県大垣市丸の内2丁目29番地  
TEL 0584-47-8067(直通) FAX 0584-47-8636 <https://www.dty.ogaki.jp/>  
奥の細道むすびの地記念館ホームページ: <http://www.basho-ogaki.jp/>  
奥の細道むすびの地記念館ホームページで最新の情報更新をご確認ください。

施設案内  
展示室: 常設展・企画展  
料金: 一般300円 団体150円 (15名以上団体予約)  
観覧時間: 午前9時~午後5時 午前9時~午後3時  
休館日: 展示室は休館日・祭日・祝日

記念館HP  
奥の細道むすびの地

「誰か」のことじゃない。

チラシ (表)

芭蕉は元禄二年(一六八九)三月二十七日に江戸の深川現東京都江東区を出立すると東北北陸地方を巡り、同年の八月二十日頃に大垣を訪れました。大垣に二週間は滞在した芭蕉は、多くの人々と親しく交わり九月六日伊勢国現三重県津に向けて旅立ちました。この旅の体験をもとに書かれた『奥の細道』は、芭蕉の俳諧旅行の細道には現在大垣が「奥の細道むすびの地」と称されるように記行をめぐくる旅路として登場します。そして著者である芭蕉自身の体験と同じように文学作品中の記行の本文には大垣を訪れた主人公として人々との交際の様子が描かれています。第四十三回企画展では、『奥の細道』の大垣の章段について著者である芭蕉や旅を案内する人々にゆかりの作品資料を紹介いたします。

主な展示品  
・芭蕉の奥の細道(複製) (大垣市指定文化財)  
・芭蕉の奥の細道(複製) (大垣市指定文化財)  
・芭蕉の奥の細道(複製) (大垣市指定文化財)  
・芭蕉の奥の細道(複製) (大垣市指定文化財)  
・芭蕉の奥の細道(複製) (大垣市指定文化財)  
・芭蕉の奥の細道(複製) (大垣市指定文化財)  
・芭蕉の奥の細道(複製) (大垣市指定文化財)  
・芭蕉の奥の細道(複製) (大垣市指定文化財)

企画展関連講座  
10/26日 14:00~15:30  
会場: 記念館 2階 多目的室1  
テーマ: 蛤画賛 徹底分析  
講師: 小林 孔氏 (大阪城南女子短期大学教授)

申込用紙

名前 \_\_\_\_\_  
住所 \_\_\_\_\_  
電話・FAX番号 \_\_\_\_\_ 電話 \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_

【注意事項】  
・申込用紙の個人情報は、適切に管理し、本事業以外での目的には一切使用しません。  
・申込用紙の返却についてはお断りします。なお、お断りいただく場合があります。  
・会場整理のため、定員の超過、できるだけ前日までにご連絡ください。  
・本事業の運営には個人情報が活用されますので、お断りいただく場合があります。

\*講座は、申込用紙に必要事項を記入して、文化振興課へ郵送・持参・FAX、または奥の細道むすびの地記念館ホームページ(<http://www.basho-ogaki.jp/>)および上記のQRコードより申し込みください。  
〒503-8601 岐阜県大垣市丸の内2-29 大垣市教育委員会 文化振興課  
TEL 0584-47-8067(直通) FAX 0584-47-8636

※詳細は奥の細道むすびの地記念館ホームページで確認ください。

チラシ (裏)

## 2 教育・普及活動

### (1) 一般向けの活動

#### ① 企画展関連講座

月 日	内 容	講 師	参加者
令和7年 5月 4日 (日)	第41回企画展関連講座 歌枕の近世的変容と俳諧	熊本県立大学准教授 真島 望	58人
8月17日 (日)	第42回企画展関連講座 災害に立ち向かった明治人 ～金森吉次郎と金原明善による思想の共鳴～	鹿児島大学法文学部附属 「鹿児島の近現代」教育 研究センター特任准教授 伴野 文亮	99人
10月12日 (土)	第43回企画展関連講座 蛤面賛 徹底分析	大阪城南女子短期大学教授 小林 孔	46人

#### ② おおがき芭蕉大学

月 日	内 容	講 師	参加者
令和7年 7月20日 (日)	ポケモンは松尾芭蕉が作った！？ ～妖怪と俳諧の意外な関係～	兵庫県立歴史博物館学芸課長 香川 雅信	45人
9月28日 (日)	俳諧説話の中の〈芭蕉〉 ～史実と伝承～	國學院大學教授 伊藤 龍平	44人

#### ③ おおがき先賢大学

月 日	内 容	講 師	参加者
令和7年 12月14日 (日)	幕末政治史と所郁太郎 ～板倉筑前介(淡海槐堂)との関わりから～	京都女子大学・大谷大学非常勤講師 中村 武生	75人
令和8年 2月22日 (日)	社会教育の父・関屋龍吉氏と 青い目の人形・答礼人形	一般社団法人日本人形玩具学会会員 伊井 さえこ	51人

#### ④ 総合監修者講演会

月 日	内 容	講 師	参加者
令和7年 11月 9日 (日)	一茶の連句はどのようなものか	和洋女子大学教授 佐藤 勝明	30人

⑤ ギャラリートーク

月 日	内 容	講 師	参加者
令和7年 3月30日 (日)	第41回企画展ギャラリートーク	担当学芸員	46人
4月13日 (日)			7人
4月27日 (日)			11人
5月11日 (日)			12人
7月19日 (土)	第42回企画展ギャラリートーク	担当学芸員	13人
8月10日 (日)			18人
8月24日 (日)			16人
8月31日 (日)			9人
10月 5日 (日)	第43回企画展ギャラリートーク	担当学芸員	14人
10月12日 (日)			9人
11月 2日 (日)			8人
11月16日 (日)			10人

## (2) 子ども向け活動・学校との連携活動

### ① こどもミュージアム

子どもたちが、松尾芭蕉や大垣にゆかりの先賢について、関連する歴史・文化に触れながら学ぶ体験型の講座を開催した。

月 日	内 容	講 師	参加者
令和7年 7月27日（日）	和装本づくり	一級製本技能士 田中 稔	14人
8月 2日（土）	水墨画体験講座	水墨画家 荒井 克典	16人

令和7年度 奥の細道むすびの地記念館  
**こどもミュージアム**



昔の和綴じで  
本をつくろう



うちわに墨  
か  
で絵を描こう



**【和装本づくり】**  
と き：令和7年7月27日（日）  
13：30～15：30  
講 師：田中 稔 先生  
（一級製本技能士）  
持ち物：はさみ・糸通し

こどもミュージアムって？  
奥の細道文化や大垣ゆかりの  
先賢にちなんだ子どもたち  
向けの体験型講座です。  
※「先賢」は、昔のすぐれた人  
のこと。

**【水墨画体験】**  
と き：令和7年8月2日（土）  
13：30～15：30  
講 師：荒井 克典 先生  
（水墨画家）  
持ち物：そうざん

◎ ところ：大垣市奥の細道むすびの地記念館 2階 多目的室1  
(大垣市船町2-26-1 TEL:0584-84-8430)  
◎ 定 員：各日20名 (市内の小学校4年生～中学校3年生、保護者同伴可)  
※ 先着順、和装本づくりに参加の小学生は保護者の同伴が必要  
◎ 参加費：いずれも材料費として1人500円 (当日徴収)  
★ 要事前申込み★ 市HP「電子申請サービス」、電話、FAX、郵送  
6月16日(月) 8:30～各日直前の金曜日17:15



申込ページ

【問合せ先】 大垣市教育委員会文化振興課 (〒503-8601 大垣市丸の内 2-29)  
TEL:0584-47-8067 (直通) FAX:0584-47-8636

**こどもミュージアム参加申込書**

氏 名	ふりがな	学 年	
住 所	〒 -		
保護者 氏 名	ふりがな	参加講座 (○をつける)	
保護者 連絡先	電 話	和装本づくり	
	F A X	水墨画体験	

※申込書の個人情報は、本事業以外の目的には一切使用しません。 ※会場整理のため、欠席の場合は、前日までにご連絡ください。

チラシ

② ふるさと魅力体験事業

大垣市内小学校・義務教育学校全19校のうち15校の6年生、1,110人（引率職員を含む）を受け入れ、見学事業を実施した。

令和7年度 ふるさと魅力体験事業奥の細道むすびの地記念館見学日程

No.	日程			学校名	参加人数（人）			
	月日	曜	見学時間		児童	引率職員	計	クラス
1	5月13日	火	9：00～10：45	南 小学校	33	1	34	1
2	5月21日	水	10：05～11：20 13：45～15：00	小野 小学校	147	5	152	5
3	5月28日	水	10：05～11：05 14：05～15：05	北 小学校	129	4	133	4
4	6月2日	月	10：05～11：50 14：05～15：50	西 小学校	110	4	114	4
5	6月3日	火	9：00～10：45	青墓 小学校	47	2	49	2
6	6月9日	月	10：05～11：50 14：05～15：50	中川 小学校	124	4	128	4
7	6月11日	水	10：05～11：50	綾里 小学校	23	1	24	1
8	6月18日	水	10：05～11：50	江東 小学校	77	3	80	3
9	6月30日	月	10：05～11：50	荒崎 小学校	35	1	36	1
10	7月2日	水	10：05～11：50	墨俣 小学校	41	2	43	2
11	7月7日	月	10：05～11：50 14：05～15：50	東 小学校	72	3	75	3
12	7月9日	水	10：05～11：50	宇留生 小学校	77	3	80	3
13	9月3日	水	9：55～11：40	上石津 学園	29	1	30	1
14	9月17日	水	10：05～11：50	赤坂 小学校	59	2	61	2
15	9月26日	金	9：00～10：45	興文 小学校	69	2	71	2
					1,072	38	1,110	

### 1) 目 的

芭蕉や俳句に対する興味関心を高めるとともに、郷土や先賢の偉業に対する理解を深め、ふるさとを愛する態度を養う。

### 2) 学習内容

- ・AVシアターの映像視聴で松尾芭蕉と奥の細道紀行について学ぶ。
- ・芭蕉館・先賢館において、担当者による展示解説などを通して松尾芭蕉や大垣の先賢等について学ぶ。
- ・船町川湊を散策し、名勝「奥の細道の風景地」の景観に触れ、俳句の種を見つける（十六万市民投句に投句する）。

### ③ その他

依頼に応じて実施した子ども向け活動・学校との連携活動は、以下のとおりである。

月 日	活動内容	備 考
令和7年 5月22日（木）	奥の細道むすびの地記念館見学	大垣市立西部中学校1年生
6月 4日（水）	奥の細道むすびの地記念館見学 及び俳句づくり	学校法人西濃学園高校1年生
7月10日（木）	ふるさと大垣のじまんをみつけよう ～俳句と大垣城について～	大垣市立安井小学校3年生 大垣市「飛び出す市役所」出前講座
11月13日（木）	奥の細道むすびの地記念館見学 及び俳句づくり	池田町立温知小学校5年生
令和8年 1月15日（木）	奥の細道むすびの地記念館見学	大垣市立南中学校1年生

### (3) 博物館実習

3大学、3人を受け入れた。

#### ① 実習概要

日 時	令和7年8月1日（金）～8月5日（火） 8:30～16:30
場 所	8月1日（金） 奥の細道むすびの地記念館、守屋多々志美術館 2日（土） 守屋多々志美術館 3日（日） 奥の細道むすびの地記念館 4日（月） 奥の細道むすびの地記念館 5日（火） 守屋多々志美術館
実習生	三重大学 人文学部 文化学科 1人 岐阜女子大学 文化創造学部 文化創造学科 1人 中部大学 人文学部 歴史地理学科 1人

#### ② 実習内容

実習日	実習内容
8月1日 (1日目)	1) 講話「美術館における学芸員の役割」 <ul style="list-style-type: none"><li>・展示室の見学</li><li>・守屋多々志美術館の概要と学芸員の役割について</li></ul> 2) 講話「奥の細道むすびの地記念館について」 <ul style="list-style-type: none"><li>・展示室の見学と展示方法について</li><li>・収蔵庫の見学と資料管理の方法、留意点について</li><li>・歴史資料を扱う際のルールや注意すること</li></ul> 2) 実習「掛軸・卷子・和本の取扱い」 <ul style="list-style-type: none"><li>・掛軸の掛け方・巻き方、卷子の開き方・巻き方、和本の開き方</li></ul>
8月2日 (2日目)	1) 実習「ワークショップの運営」 <ul style="list-style-type: none"><li>・守屋多々志美術館の子ども向けワークショップ</li><li>・参加した子どもたちの補助</li></ul> 2) 実習「展示の企画と資料の調査」 <ul style="list-style-type: none"><li>・守屋多々志作品の展示の企画、展示場所の確認、資料の採寸</li></ul>
8月3日 (3日目)	1) 講話「展示の企画」 <ul style="list-style-type: none"><li>・展示の企画の考え方、手順</li></ul> 2) 実習「展示資料の調査」 <ul style="list-style-type: none"><li>・展示資料の解説文作成</li></ul> 3) 実習「地域に残る古文書の現状記録作業」 <ul style="list-style-type: none"><li>・赤坂宿本陣関係文書の現状記録調査カードへの記入</li><li>・写真及びスケッチによる記録</li><li>・中性紙封筒への保存の仕方</li><li>・古文書の読み取り実習（くずし字用例辞典の活用）</li><li>・古文書の開き方やたたみ方</li></ul>

実習日	実習内容
8月4日 (4日目)	1) 実習「展示資料の調査」 ・展示資料の解説文作成 2) 実習「展示パネルの作製」 ・資料解説のパネル・キャプションの作製
8月5日 (5日目)	実習「展示作業」 ・守屋多々志作品の展示

#### (4) 講師派遣

月 日	講座・講演会名	内 容
令和7年 10月 5日 (日)	星巖祭 (168回忌) 記念講演	金森吉次郎から見た梁川星巖
12月18日 (木)	大垣市「飛び出す市役所」出前講座 (談風会)	第42回企画展「金森吉次郎 ～水を治むるの 本は、山を治むるに在り～」を終えて

### 3 資料の収集活動

奥の細道むすびの地記念館は大垣の歴史と文化を世界発信するため、次の3分野に関連する資料を積極的に収集し、それらを保管、公開（情報発信）及び専門研究を行うことを基本的な柱とする。

#### I 芭蕉館に関連する資料の収集について

- i 松尾芭蕉、『奥の細道』、大垣蕉門、岐阜蕉門、全国の元禄期俳人、美濃派道統、近世俳諧史に関連する人物の資料と関連情報を調査・収集し、それらの保管、公開（情報発信）及び専門研究を行う。
- ii 「i」に関連する資料であれば、必要に応じて比較資料や参考資料も収集対象とする。
- iii 貸出用、普及行事用、展示用資料として写本、拓本、写真、刊行物、複製品等の二次資料も収集対象とする。
- iv 特に松尾芭蕉、『奥の細道』、大垣蕉門、岐阜蕉門に関連する資料は網羅的に収集する。

#### II 先賢館に関連する資料の収集について

- i 江馬蘭斎・飯沼慾斎・江馬細香・梁川星巖・小原鉄心の五先賢に関連する資料及び五先賢に関連する重要人物の資料と関連情報を調査・収集し、それらの保管、公開（情報発信）及び専門研究を行う。
- ii 「i」に関連する資料であれば、必要に応じて比較資料や参考資料も収集対象とする。
- iii 貸出用、普及行事用、展示用資料として写本、拓本、写真、刊行物、複製品等の二次資料も収集対象とする。

#### III 大垣の歴史と文化を研究するための資料の収集について

- i 大垣の歴史や文化を知る上で、重要と思われる中世から戦前期までの出来事や人物の資料と関連情報を調査・収集し、それらの保管、公開（情報発信）及び専門研究を行う。
- ii 大垣の歴史や文化を知る上で、良好な状態で保管が必要と思われる資料や国・県・市指定の重要文化財等も収集対象とする。

#### 収蔵資料点数

	館蔵資料	預託資料	合計
点数	2,660点	199点	2,859点

※整理中の資料は点数に含まない。

令和7年度の新規収蔵資料及び資料補修は、以下のとおりである。

(1) 寄附資料

資料名	数量	時代
『天神法楽之発句』	1冊	江戸前期
不角・一峰点 前句付高点句巻	1巻	江戸中期
『花摘』上・下	2冊	江戸中期
『柿表紙』上・中・下	3冊	江戸中期
『連誹秘決抄』一・二、『連誹秘決抄或問』（写本）	3冊	江戸中期
『別坐鋪』	1冊	江戸中期
『誹諧初学抄』	1冊	江戸前期
『芭蕉庵小文庫』上・下	2冊	江戸中期
『養老瀧の記』	1冊	江戸後期
『蕪村翁文集』乾・坤	2冊	江戸後期
春峰画・文花賛「ふむ影に」等四季発句文花坐像	1幅	明治
村瀬藤城筆「煙漁寿像碑文」	1幅	幕末
野村藤陰筆「金森金四郎翁寿像碑文」	1幅	明治
金森金四郎筆「鳴不飛不」	1巻	明治
青木儼稿画「金森吉次郎衆議員議員当選祝賀宴会」	1巻	明治
金森吉次郎筆 七言絶句「仲秋の詩」	1幅	明治
小中村清矩筆「頌徳謝恩表」	1幅	明治
小野鷲堂筆「天皇陛下銀婚式賀表」	1幅	明治
水谷奥嶺筆「金森吉次郎寿像歌」	1幅	大正
松野緑筆「藍綬褒章寄贈祝章」	1巻	昭和
西濃山岳震災図（根尾・徳山・伊自良震災実況図）	1巻	明治
井上毅筆「治水詠草」附小野鷲堂識語	1巻	明治
金森吉次郎宛福沢諭吉書簡・金原明善宛品川弥次郎書簡	1巻(2通)	明治
金森吉次郎宛小室翠雲書簡	1巻(2通)	大正
小野湖山筆「窮民図巻附詩」	1巻	明治
津田天游筆「醜梅歌」	1幅	大正
一柳元吉筆「禾苗詩」	1幅	明治
池部義象筆「水災和合詠草」	1幅	明治
金森吉次郎宛高崎正風書簡	1巻(5通)	明治
金森吉次郎宛陸羯南書簡	1巻(5通)	明治
有松英義筆「読金森士遠寿像記」	1巻	大正
有松英義筆「金森士遠略伝記」	1巻	大正
金原明善 上書（印刷）	1冊	明治
西村捨三筆「三大川分流成工詩」	1幅	明治

資料名	数量	時代
金森吉次郎翁寿像除幕式実況撮影 (写真)	1枚	大正
金森吉次郎翁寿像全景撮影 (写真)	1枚	大正
金森吉次郎肖像 洋装 (写真)	1枚	明治
金森吉次郎肖像 和装 (写真)	1枚	明治～大正
金森吉次郎宛諸氏書簡貼交屏風	2曲1隻	明治～昭和
有松氏揮筆「寒魚士詩」	1幅	明治
金森吉次郎宛西薇山書簡	1卷 (8通)	明治
金森吉次郎宛井上毅書簡	1卷 (11通)	明治
金森嘉兵衛宛村瀬藤城書簡	1卷 (12通)	幕末
金森嘉兵衛宛村瀬藤城書簡	1卷 (11通)	幕末
金森嘉兵衛宛村瀬秋水書簡	1卷 (13通)	幕末
岡鹿門筆「金森氏書画横卷記」	1卷	明治～大正
川瀬格堂詩	1幅	明治
西薇山筆「忙仙子伝」	1卷	明治
水谷奥嶺筆「鄭成功長編詩」	1幅	明治
後藤松陰詩卷	1卷	幕末
富永弥左衛門 宗白居士碑文 (一) (拓本)	1幅	明治
富永弥左衛門 宗白居士碑文 (二) (拓本)	1幅	明治
富永弥左衛門 宗白居士碑文 (三) (拓本)	1幅	明治
富永弥左衛門 宗白居士碑文 (四) (拓本)	1幅	明治
浪花洗翁詩	1卷	明治
大塩先生永源寺觀楓長篇詩	1幅	江戸後期
人見璣邑書簡	3卷	江戸中期
嶺田楓江書簡	1卷	幕末～明治
村瀬太乙筆 湖東詩画賛	1幅	幕末
小原鉄心筆「心外無法」扁額	1枚	幕末～明治
大谷光演筆「至誠如佛」扁額	1枚	明治～昭和
金森吉次郎筆「戒傲勸謙」「於施印藪」(原稿)	1枚	明治
金森吉次郎宛高崎正風葉書	1枚	明治
金森吉次郎宛高崎正風葉書	1枚	明治
高崎正風宛金森吉次郎郵便物受領証	1枚	明治
人見璣邑翁略伝 (原稿)	1枚	明治
水火和合歌似金森毅葦並引 (印刷)	1枚	明治
金森吉次郎宛高崎正風書簡	1通	明治
『笈日記』中	1冊	江戸中期
『風狂文艸』一～五	5冊	江戸中期
『貞徳夢想百韻』(写本)	1冊	江戸前期以降

資料名	数量	時代
『潮の花』	1冊	明治
『淡々文集』一～三	3冊	江戸中期
『虚白発句集』乾・坤	2冊	明治
『家作楽集』	1冊	明治
『蕉門五竹坊秘話』(写本)	1冊	江戸中期以降
『つたふ松風』	1冊	明治
『月乃梅』	1冊	大正
『はせを句解参考』	1冊	江戸後期
『丈草発句集』(写本)	1冊	江戸中期以降
『異名分類抄』	1冊	江戸後期
『奥細道菅菰抄』上	1冊	江戸後期
『花供養』一～九	9冊	江戸中期
元禄4年10月3日付如行宛芭蕉書簡	1幅	江戸中期
夜城筆 三行書「汝好持是語」	1幅	明治
夜城筆 五言絶句「已辭烟雲路」	1幅	明治
梁川星巖筆 七言絶句「青紫紛紜不可親」	1幅	幕末
凉阿坊覚書(写本)	1冊	幕末

## (2) 購入資料

資料名	数量	時代
白木恕介宛小原鉄心書簡	1幅	幕末
梁川星巖宛白木東陵書簡	1通	幕末
梁川星巖宛山本順正書簡	1通	幕末
梁川星巖宛伊藤介一書簡	1通	幕末
梁川星巖宛忍頂寺仁三郎・伊藤介一書簡	1通	幕末
梁川星巖宛医竹堂彦兵衛書簡	1通	幕末
梁川星巖宛塩浜竹蔵書簡	1通	幕末
梁川星巖宛藤本元岱書簡	1通	幕末
南條文雄筆 七言絶句二行書短冊(「太平洋 其四」)	1枚	昭和
『芭蕉門古人真蹟』	1冊	江戸後期
上田聴秋賛・中野其玉画 蝶図	1幅	明治
十一世花本抜句章(松濤「野も山も」句ほか)	1冊	明治～昭和
十一世花本抜句章(秀葉「日の通す」句ほか)	1冊	明治～昭和
桑原歴山宛内海良大書簡	1通	幕末
桑原歴山宛内海良大書簡	1通	幕末
桑原歴山宛内海良大書簡	1通	幕末
富田宗平宛江馬細香書簡等貼継卷子	1巻(27点)	幕末～明治

資料名	数量	時代
江馬細香筆 孟浩然五言絶句「洛陽訪才子」	1幅	江戸後期

(3) 預託資料

資料名	数量	時代
元禄7年9月23日付松尾半左衛門宛芭蕉書簡	1幅	江戸中期

(4) 資料補修

資料名	数量	時代
『蓬萊嶋』天・地・人	3冊	江戸中期
廬元坊筆「かくれ家や」句文懐紙	1幅	江戸中期
右麦筆「何をして」等四句懐紙	1幅	幕末

大垣市奥の細道むすびの地記念館 学芸事業報告書 令和7年度

発行日 令和8年3月31日

編集・発行 大垣市教育委員会

〒503-8601

岐阜県大垣市丸の内2丁目29番地

TEL:0584-47-8067 (文化振興課 直通) FAX:0584-47-8636